

用語の整理について

『病態栄養専門医テキスト(改訂第2版)』第一刷について、以下の語句を正確に使い分ける観点から、書籍記載内容について下表のごとく修正いたします。

編集代表
日本病態栄養学会 専門医制度委員会 委員長
松浦文三

【対象語句】

完全静脈栄養	total parenteral nutrition (TPN) 一般的には「中心静脈栄養」と同義語で使用する。ただし、中心静脈栄養の投与エネルギー量が総投与エネルギー量の60%未満になっている場合はとくに補完的静脈栄養 (supplemental parenteral nutrition) という。
部分的静脈栄養	partial parenteral nutrition (PPN) 末梢静脈栄養と同義語で使用する。
中心静脈栄養	central venous nutrition
末梢静脈栄養	peripheral venous nutrition
高カロリー輸液	intravenous hyperalimentation (IVH)

【修正内容】

頁	該当箇所	修正前	修正後
153	右段 18 行目	IVH	静脈栄養
154	左段 10 行目	IVH	静脈栄養
158	左段 4 行目 (小見出し)	経静脈栄養療法	静脈栄養療法
	左段 6 行目	中心静脈栄養管理 IVH	静脈栄養管理
	左段 7 行目	完全中心静脈栄養療法	(割愛)
	左段 17 行目	IVH 量	静脈栄養投与量
180	左段 25 行目	IVH による栄養管理	静脈栄養を併用した栄養管理
	左段 26 行目	在宅 IVH	在宅静脈栄養療法 (HPN)
197	図 3 中	IVH	静脈栄養
214	右段下から 9 行目	<u>末梢静脈栄養 (PPN) と中心静脈栄養 (TPN) があるが、高浸透圧の輸液は静脈炎を惹起するため末梢静脈から投与できる糖濃度は 10% が限界である。十分なカロリーを補給するには多量の輸液が必要となり、浮腫や血管外漏出の危険性もあり、TPN (intravenous hyperalimentation : IVH) が推奨される。</u>	<u>末梢静脈栄養と中心静脈栄養があるが、高浸透圧の輸液は静脈炎を惹起するため末梢静脈から投与できる糖濃度は 10% が限界である。十分なカロリーを補給するには多量の輸液が必要となり、浮腫や血管外漏出の危険性もあり、中心静脈栄養が推奨される。</u>
215	左側 10 行目, 19 行目	IVH	中心静脈栄養